

1 ねらい

【職場体験学習】

平成25年6月19日（水）～21日（金）の3日間において、校区内を中心に市内49事業所の協力により、職場体験学習を実施した。各事業所への体験学習への協力依頼から事前打ち合わせ、実際の活動・活動後のレポート作成までを自主的に体験することができた。下記にあげる三つの目的を主題に、活動を行わせることにより、労働の意義や将来の進路について考え・感じさせるよう活動を展開した。

- 進路への意識を高め、自分の生き方について考える。
- 社会との関わりを実感させ、働く喜びと成就感を得る。
- 社会人としての基本的な生活習慣を学ぶ。

【特別支援学校との交流学習】

佐世保特別支援学校との交流学習を通して、障がいについての理解を深めると共に、思いやりの心を育てることを目的に計画・活動を行った。特別支援学校やその生徒達のことについて知ることを目的として、5月に見学訪問を行ったことを活かし、11月6日（水）に支援学校の生徒39名を招いての交流会を行った。活動を通して、主体的に活動内容を考えて、積極的にかかわろうとする態度の育成と、相手に配慮して活動をする姿勢を育成することに目的をおき取り組んだ。

2 生徒の活動内容・感想



【職場体験学習】

○活動内容

- (1) 体験学習先選択
- (2) アポイントメントの取り方の学習
- (3) 事前打ち合わせ
- (4) 事前指導
- (5) 職場体験学習
- (6) お礼状の作成

○感想から

- ・社会生活を営んでいく中で、挨拶が如何に大切か学ぶことができました。
- ・それぞれの仕事は苦勞もあったが、やり遂げた時には達成感を覚えた。
- ・仕事をすることの苦勞を知り、保護者への感謝と尊敬の気持ちが芽生えました。

【特別支援学校との交流学習】

○活動内容

- (1) 意義・目的の確認・班編成・実行委員選出
- (2) 見学訪問
- (3) 活動内容検討・紹介カード作成
- (4) 活動準備
- (5) 交流学習
- (6) 感想・メッセージカードの作成

[交流会でのレクリエーション内容]

毛布リレー・折り紙・風船バレー・宝探し・学校探検・ボーリング・福笑い
鬼ごっこ・花いちもんめ・トランプ・しりとり・バドミントン 等

○感想から

- ・最初はどのように接して良いか分からなかったが、準備した遊具等でいっしょに楽しく遊ぶ中で徐々に話ができ、また交流したいと思いました。
- ・準備していたレクリエーションが担当した生徒には難しく、楽しい思い出をつくってもらえないかもしれないと心配したが、その人に寄り添っていっしょにいることが、本当は一番大切だと気づくことができました。



3 成果・課題

【職場体験学習】

- 事前訪問のアポイントメントの電話から生徒自身に行わせたことによって社会性を養う良い機会となった。また、その事前指導において電話対応の仕方や礼法の指導をできたことは、普段の教育活動で指導が十分ではない部分を指導する良い機会となった。
- 与えられた仕事のみならず自ら積極的に仕事をみつけるなど、社会においてどのような人材が求められているかを生徒自身が体験を通して知る機会となり、今後の学校生活で学ぶべきことを明確にするとともに学習意欲を高めるきっかけともなった。

【特別支援学校との交流学習】

- 人と関わることに於いて、相手のことを十分に知り、その人の立場に立って物事を考えることの大切さを認識させる事ができた。
- 校区内にある特別支援学校をより身近に感じ、今後も交流を継続して行いたいという意欲を高めることができた。